

平成29年度 学校関係者評価委員会 議事録

日 時：平成29年5月11日（木）16：00～18：00

場 所：基礎医学実習室

学校関係者評価委員

出席者：斉藤恭二郎、中村 聡、田中 博、矢田真樹、

欠席者：岡村 郁生（委員長）、鈴木秀旺

教職員：杉山誠一、城 茂高、水野浩一、太田一郎、金川 小百合

1. 議事次第：1) 開 会

2) 校長挨拶

3) 委員紹介

4) 委員長挨拶

5) 議事（議長：矢田委員）

(1) 平成28年度 自己点検・評価報告（配布資料）

(2) 質疑応答

(3) 学校関係者評価

6) 閉 会

2. 議事経過

1) 開 会

城事務長より平成29年度第1回学校関係者評価委員会の資料を確認し開会の挨拶がなされた。

2) 校長挨拶

委員会に先立ち、杉山校長より学校関係者評価委員会の主旨の説明と挨拶がなされた。

3) 委員紹介

城事務長より、委員および東海医療学園専門学校教員の紹介がなされた。

委員 斉藤 恭二郎（公益社団法人静岡県鍼灸マッサージ師会会長）

〃 中村 聡（公益社団法人静岡県鍼灸師会会長）

〃 田中 博（NPO法人熱海市体育協会事務局長）

〃 矢田 真樹（静岡県鍼灸学術研究会会長）

教職員 杉山 誠一（校 長）

〃 城 茂高（事務長）

〃 水野 浩一（教務課長）

- 〃 太田 一郎 (臨床センター長)
- 〃 金川 小百合 (AT コース長)

また、今回岡村委員長が所要により欠席をしているので、矢田委員に委員長代行をお願いしたい旨の提案があった。これを各委員に諮ったところ全員意義なく了承された。

4) 議長挨拶

矢田委員議長代理より挨拶がなされ次第に従い議事が進行した。

5) 議事 (議長：委員長)

(1) 平成 28 年度 自己点検・評価報告

城事務長より平成 28 年度学校評価実施報告書の「1. 教育理念・目的・人材育成像」「2. 学校運営」について報告がされた。

水野教務課長より「3. 教育活動」と「4. 学修成果」について報告がなされた。

城事務長より「5. 学生支援」「6. 教育環境」「7. 学生募集および受け入れ」「8. 財務」「9. 法令等の遵守」について報告がなされた。

太田センター長より「10. 社会貢献・地域貢献」について報告がなされた。

(2) 質疑応答

矢田委員・議長代理の議事進行により各委員と教員との質疑応答が行われた。
委員会内での意見を下記に列記する。

*** 中村委員：**入学者の低下について、何らかの原因や背景はあったのか？

城事務長：昨年のデータとして顕著に現れたのが、社会人志願者の減少である。他校でも見られた現象だが、体験入学などのイベントにおいても社会人の方々の参加率が低迷していると情報があった。高校生の志願者に関しては例年通りの数で問題はないが、昨今の 18 歳人口の低下により厳しくなると見込んでいる。今後の広報としては、例年通り高校生向けのガイダンスに参加しつつ、社会人向け PR の改善が課題である。

杉山校長：専門学校は大きく分けると 8 分野ある。本校は医療分野になるが、ほかには教育・社会福祉分野、商業実務分野、農業分野、工業分野、衛星分野などがある。ここ何年間で専門学校の「四増四減」と言われ、入学者の増えている分野に観光（商業実務分野）・工業分野が入っている。また、減っている方には医療分野や教育・社会福祉分野が入っている。社会経済の流れで医療分野が下がっていることを、1つの資料としてそのような傾向があると認識していただ

きたい。

***中村委員：**私は学校の努力が足りないとは思ってはいない。やはり社会の流れで鍼灸マッサージ師の将来としてどう捉えるかということに非常にかかっている。

地域に密着することで日々夢を持った学生が、社会人になって地域に貢献していく。その努力をしていかなければならない。国家試験合格 100%の課題もあったが、私は試験の合格率というのが多少影響するのだと思うが、逆に『医療人としての人間形成＝国家試験合格 100%』でないと考えている。100%に追われてそこだけの対策になってしまうのであれば、知識（国試）だけではなく、技能や人間性の方にも注力し、良い医療人としての教育が必要である。

***田中委員：**傾向として、社会経済状況を見るといろいろな選択肢が増えている。また少子化も進んでいて大学も定員割れの状況であるから、いろいろな手法で発信をして学生募集をしっかりと取り組んでほしい。

杉山校長：この状況可の中、本校の強み・特色を磨かなければならない。現在は、県内唯一マッサージの資格が取れること、東京オリンピックに控え、スポーツ熱の高まる中でアスレティックトレーナー養成コース。これが県東部で本校のみという点。求人もたくさん頂いていて、就職率も高い。これから持たなければならぬのは臨床能力が高い教育を注いでいること。質のいい鍼灸師・トレーナーをいかに社会に送り出していくことが大切である。

***斉藤委員：**マッサージ師の養成。マッサージを全面に押し出せば定員割れをしないのでは？

杉山校長：本校はもともと「あん摩マッサージ指圧師」の学校で始めた学校なので、今回 60 周年を節目にしてもう一度原点を見直すつもりである。今度のカリキュラム改正では、あん摩・指圧・マッサージの実習時間を増やすつもりでいる。もう一度光を当てて再スタートをきりたい。

(3) 学校関係者評価

矢田議長代理より評価方法について説明がなされ、各委員が評価を実施した。

評価にともない教職員は一時退席した。30 分後、教職員は再び着席し、委員からの総評ならびに再度の質疑が行われた。

6) 閉 会

最後に城事務長より閉会の挨拶がなされ 18:00 に閉会した。また、今回の評価内容については、早急に評価報告書に反映させ情報公開する旨の報告が併せてあった。

以上

委員会資料：平成 29 年度東海医療学園専門学校 学校関係者評価委員会次第（資料 1）

学校関係者評価委員会規則（資料 2）

平成 28 年度学校評価実施報告書（資料 3）